

## 【コラム】「読み人おらず」から「県民が自分事を感じる」計画へ ～総合計画審議会からの県民の皆さんへのメッセージ

総合計画は、策定するときは注目されますが、できた後は、職員自体もあまり顧みない、県民に至っては読む人はほとんどいない、いわば「読み人おらず」になっているのでは、と言われることがあります。

私たち総合計画審議会は、計画案に関して県民の視点で、専門的な立場も踏まえて審議し、その結果を県に対して答申することが任務ですが、最初の会議で、茨城県の主役である県民（当然、企業、団体、地域コミュニティなども含みます）の方が県行政の方向性を理解し、県民が「自分事」（自分の生活・活動に関係すること）と感じられる計画にしたいと話し合いました。その思いに沿って、会議時のみならず、委員同士で連絡を取り合っただけで積極的な意見交換を進めてきました。その意見交換の結果がかなり取り入れられた答申案になっていると思います。

### ■「いばらき県民意識改革」のすすめ

総合計画は、県職員だけが取り組むのではなく、県民がその内容をよく知って、行政と一緒に県づくりを進めていく指針になることが大事で、皆さんにはそれを力強く進めていただくような「意識」を是非持っていただきたいと考えます。

県民性を表現するうえでよく言われる「いいもんなんか、なにもないよ」といった口癖は、いいものに囲まれ満足している裏返しなのかもしれませんが、是非、「魅力再発見」「PR上手に挑戦」していただきたいと思います。そもそも「いばら'き」の認識を広めることも必要でしょう。これらを県民が実践することが県民の自信と誇りと県への愛着を高め、さらにいいものを生み出し、生き生きとした県づくりにつながるのではないのでしょうか。

また、県民一人ひとりがその能力を最大限発揮できる社会の実現には、例えば、男女分け隔てなく育児休業を取ることが当たり前になる組織・社会になって欲しいと思いますし、自分の意見や考えを堂々と話し、多様な意見を取り入れて、みんなで意見交換して物事を決めていくという風土になって欲しいと思います。

私たちは、総合計画を実現するうえで、県民の皆さんに是非、強く意識していただきたいことを次のようにまとめました。これらは当たり前のことかもしれませんが、その当たり前を県民の皆さんが総力をあげて実践されることで、県を発展させていく大きなうねりにつながっていくと考えます。

#### 【いばらき県民意識改革のすすめ5箇条】

- ①今ある資源の魅力再発見に努めましょう！
- ②脱・PR下手。PR上手に挑戦しましょう！
- ③目標に向かって諦めない粘り強さを発揮しましょう！
- ④「全ての人が自分らしく」を県民全体で実現しましょう！
- ⑤子供たちが「夢」を実現する場が「茨城」であるために未来を見据えた行動を心がけましょう！

### ■総合計画を県行政と県民の「共通言語」に

総合計画のうち、基本計画は、今後の4年間を通じて茨城県が取り組むことを県民の皆さんにお示ししてものです。「4つのチャレンジ」→「20の政策」→「92の施策」→「主な取組」の順に記述されています。

皆さんには、自らの実現したい夢、困っていること、地域や社会のために貢献したいことなど皆さんの「自分事」に関連する記述をここから探してみてください。記述がまった

くないということはないと思います。(※探しやすいように関連する取組の索引も工夫しています。←要検討)

〈索引の工夫〉

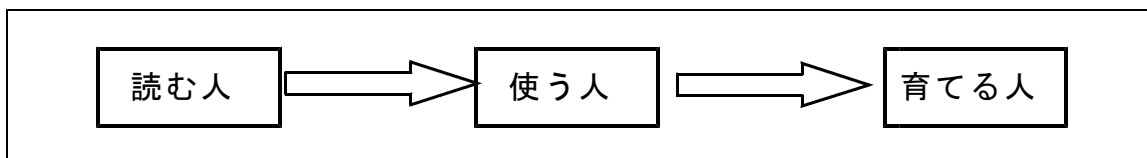
「コミュニティ」「女性活躍」「子育て支援」「食の王国」などの4つのチャレンジに横断的なテーマに関しては横に検索できるような工夫は必要かに工夫してはどうか？

その記述を自らの視点でよく読んでいただき、ご自分の活動に対して行政が支援するようなものであれば、それを活用、つまり、皆さんの活動を向上させるために行政を使っただき、ご自分の活動と県の行政が連携することによって豊かな生活や地域の実現に近づくことができるようなものであれば、一緒になってそれを進めていただければと思います。

そして、これらの取組みを進める中で、計画の内容に意見、疑問がありましたら、是非、県に申し出てください。「主な取組み」の欄に県の担当部の記述があります。担当部は皆さんに対して、十分な説明をし、さらに理解を深めていただいたり、ご意見に基づき施策に活かしたりすることができます。総合計画が県行政と県民の「共通言語」となることで新しい対話が始まり、相互理解が深まり、連携が強化され、取組みが充実していくことが期待されるわけです。

### ■「読む人」「使う人」「育てる人」になっていただくお願い

このような形で、県民の皆さんには、是非、総合計画を、「読む人」（県政の方向性を「自分事」として理解する）、「使う人」（施策を活用し、行政と連携して生活と地域を豊かにする）、「育てる人」（計画や行政を発展させる）になっていただきたいと思います。そうすることによって、「できたら終わり」の計画ではなく、「できてから成長していく計画」にもなると思います。



#### ▲総合計画に対する県民の3つのスタンス

このような総合計画を巡る営みが、「活力があり、県民が日本一幸せな県」の実現に挑戦する基本理念のもと、「強い”産業”」「夢・希望に溢れる”人”」「豊かな”暮らし”」の3つから表現する2050年頃の「茨城の将来像」を実現していくものと考えます。是非、その実現に取り組んでいきましょう。